

眠誘発作用. 第10回神経科学学術集会, 1986, 12, 大阪.

52) 小山純正, 藤田一郎, 西野仁雄, 大村 裕: 雌ザル視床下部電気刺激によって誘発される presenting と grooming. 第10回神経科学学術集会, 1986, 12, 大阪.

53) 根本清次, 藤田一郎, 西野仁雄, 大村 裕: 内因性食欲調節物質の血中濃度の測定. 第10回神経科学学術集会, 1986, 12, 大阪.

54) 稲垣 忍, 窪田芳之, 島田昌一, 鬼頭昭三, 佐々木和男, 小野武年: 視床下部腹内側核における enkephalin と glucose 受容 neuron の関連. 第10回神経科学学術集会, 1986, 12, 大阪.

55) 西野仁雄: ドーパミン (DA) 細胞の尾状核内への移植—その成育および行動の改善. 第78回日本医学会シポジウム, 1986, 12, 東京.

56) 小野武年, 田村了以: ラット視床下部ニューロン活動と学習行動にともなう自律反応. 第14回自律神経生理研究会, 1986, 12, 東京.

## 生 化 学 (1)

教 授 平 賀 紘 一  
助 教 授 山 本 雅 之

### ◆ 原 著

1) Yamamoto M., Fujita H., Watanabe N., Hayashi N., and Kikuchi G.: An immunochemical study of  $\delta$ -aminolevulinate synthase and  $\delta$ -aminolevulinate dehydratase in liver and erythroid cells of rat. Arch. Biochem. Biophys. 245 : 76—83, 1986.

2) 瀬尾伸夫, 平賀紘一, 坪井昭三, 塚本 長: ラット脳における蛋白質O—メチル化のメチル基受容蛋白質. 山形医学 4 : 107—116, 1986.

### ◆ 総 説

1) Tuboi S., Sato M., Ono H., Kobayashi K., and Hiraga K.: Mechanism of synthesis and localization of mitochondrial and cytosolic fumarases in rat liver. Advances in Enzyme Regulation 25: 461—484, 1986.

### ◆ 学会報告

1) 山本雅之, 平賀紘一, J.D. Engel, 林 典夫: 鶏赤血球及び肝 ALA 合成酵素 cDNA の単離. 第59回日本生化学会大会, 1986, 9, 大阪.

2) 山本雅之, 石黒義久, 平賀紘一: 肝グリシン開裂系H—蛋白の構造. 第59回日本生化学会大会,

1986, 9, 大阪.

3) Yamamoto, M., Hiraga, K., Engel, J. D., and Hayashi, N.: Molecular Cloning of Chicken Erythroid and Hepatic  $\delta$ -aminolevulinate Synthase cDNA., Gordon Research Conference on Chemistry and Biology of Pyrroles, July 28—August 1, 1986., Brewster Academy, Wolfeboro, New Hampshire USA.

## 生 化 学 (2)

教 授 藤 岡 基 二  
助 教 授 小 川 宏 文  
助 手 五 味 知 治  
助 手 古 西 清 司  
文部技官 高 田 義 美

### ◆ 著 書

1) Kita, K., Konishi, K., and Anraku, Y.: Purification and properties of two terminal oxidase complexes of *Escherichia coli* aerobic respiratory chain. Methods Enzymol. 126 : 94—113, 1986.

### ◆ 原 著

1) 増田 達, 五味知治, 藤岡基二: 逆相クロマトグラフィーによる S-Adenosylmethionine およびその関連物質の分離・定量. 含硫アミノ酸 8 : 21—25, 1985.

2) Fujioka, M., and Ishiguro, Y.: Reaction of rat liver glycine methyltransferase with 5'-*p*-fluorosulfonylbenzoyladenosine. J. Biol. Chem. 261 : 6346—6351, 1986.

3) Gomi, T., Ogawa, H., and Fujioka, M.: S-Adenosylhomocysteinase from rat liver. Amino acid sequences of the peptides containing active site cysteine residues modified by treatment with 5'-*p*-fluorosulfonylbenzoyladenosine. J. Biol. Chem. 261 : 13422—13425, 1986.

4) Konishi, K., Ouchi, M., Kita, K., and Hori-koshi, I.: Purification and properties of a cytochrome *b560-d* complex, a terminal oxidase of the aerobic respiratory chain of *Photobacterium phosphoreum*. J. Biochem. 99 : 1227—1236, 1986.

### ◆ 学会報告

1) 小川宏文, 五味知治, 高田義美, 藤岡基二: 発現ベクターによるラット肝S-アデノシルホモシステイナーゼの cDNA のクローニングおよび塩基

配列より推定した一次構造。第4回日本生化学会北陸支部会大会, 1986, 5, 金沢。

2) 藤岡基二, 小川宏文, 五味知治: ラット肝S-アデノシルホモスチナーゼのサブユニット構造および全一次構造。第59回日本生化学会大会, 1986, 9, 大阪。

3) 小川宏文, 藤岡基二: cDNAの塩基配列から推定したラット肝グリシンメチル基転移酵素の一次構造。第59回日本生化学会大会, 1986, 9, 大阪。

4) 古西清司, 藤岡基二: ラット肝 glycine methyltransferase の必須カルボキシル基の化学修飾。第59回日本生化学会大会, 1986, 9, 大阪。

5) 五味知治, 高田義美, 藤岡基二: ラット肝S-adenosylhomocysteinase 活性中心2システイン残基の同定。第59回日本生化学会大会, 1986, 9, 大阪。

## 病 理 学 (1)

教 授	北 川 正 信
助 教 授	三 輪 淳 夫
	岡 田 英 吉
助 手	村 井 嘉 寛
助 手	増 田 信 二
助 手	松 井 一 裕

### ◆ 原 著

1) 石崎武志, 佐賀 努, 宮保 進, 越野 健, 藤村政樹, 岡藤和博, 南 真司, 金森一紀, 松田保, 北川正信: アスペルギルス肺炎の種々相——胸部X線写真の変化を主としての検討——。日本胸部臨床 44: 540—549, 1985。

2) Ishizaki, T., Miyabo, S., Koshino, T., Fujimura, M., Ueda, M., Sato, H. and Kitagawa, M.: Lymphoid interstitial pneumonia: Findings at bronchoalveolar lavage. Eur. J. Respir. Dis. 67: 128—132, 1985。

3) Kubo, T., Hirose, S., Aoki, S., Kaji, T. and Kitagawa, M.: Canada-Cronkhite syndrome associated with systemic lupus erythematosus. Arch. Int. Med. 146: 995—996, 1986。

4) 久保 正, 若栗宜人, 宮本 汎, 吉崎 享, 北川正信. Silent thyroiditis——発症頻度, 臨床所見・経過および予後——ホルモンと臨床 34: 37—47, 1986。

5) 古川幸夫, 加藤明之, 榊原直樹, 市橋 匠, 木元春生, 渡辺洋宇, 吉村裕之, 北川正信, 松原藤

継: 手術対象となった肺真菌症, 肺寄生虫症。北陸外科学会誌 5: 39—42, 1986。

6) 北川正信: 病理解剖からみたイタイイタイ病の直接死因。環境保健レポート52: 160—161, 1986。

7) 北川正信: イタイイタイ病患者の腎機能検査と剖検腎所見との対比。環境保健レポート52: 265—267, 1986。

8) Sasagawa, I., Kazama, T., Umeda, K., Kohno, T., Katayama, T. and Miwa, A.: Down's syndrome associated with seminoma. Urol. int. 41: 238—240, 1986。

### ◆ 総 説

1) 北川正信: 肺癌の発生。呼吸 5: 1042—1046, 1986。

### ◆ 学会報告

1) 北川正信, 三輪淳夫: 気管支拡張症で2度の肺葉切除術が行われたびまん性汎細気管支炎の1例。第75回日本病理学会総会, 1986, 4, 仙台。

2) 岡田英吉, 所沢 剛: 心臓におけるリンパ循環障害に関する実験的研究 刺激伝導系に関する影響について。第75回日本病理学会総会, 1986, 4, 仙台。

3) Masuda, S., Noda, M. and Kitagawa, M.: Giant congenital uterine cyst of Müllerian duct origin. International Society of Gynecological Pathologists. Sendai Symposium, 1986, 4, Sendai。

4) 三輪淳夫, 増田信二: 肺癌剖検例に見出された非浸潤性膵管癌の1例。日本膵臓学会第17回年次大会, 1986, 7, 仙台。

5) 増田信二, 北川正信, 三輪淳夫: 胸椎 giant cell tumor 放射線療法後に発生した骨腫瘍。日本病院病理医協会中部支部第17回交見会, 1986, 7, 名古屋。

6) 野田 誠, 北川正信, 遠山龍彦: 血液透析患者における生検骨の形態計測および病理組織学的所見。第7回骨形態計測研究会, 1986, 8, 神戸。

7) 中野 隆, 小嶋康夫, 丘村 誠, 舟木 寛, 南 幹雄, 舌野 徹, 館野政也, 三輪淳夫, 増田信二, 北川正信: 過去20年間における当院の卵巣癌の治療成績及び予後因子の検討。第24回日本癌治療学会総会, 1986, 10, 松江。

8) 北川正信, 村井嘉寛, 三輪淳夫: 悪性胸膜中皮腫の5剖検例, 特に石棉曝露との関連について。第27回日本肺癌学会総会, 1986, 10, 東京。

9) 岡田英吉: 心リンパ循環障害に関する実験的研究 ラット心筋の電顕所見について。第27回日本脈管学会総会, 1986, 10, 甲府。